

8月24日(水) 本年度第7回(通算2599回)18時30分～ 釧路プリンスホテル
『クラブ創立記念・アクト合同例会』 担当/理事会・新世代委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

- | |
|-----------------------------------------|
| ・口田良隆様、我妻宣宏様、千田貴裕様、(釧路北RAC・OB) |
| ・小甲 薫君、畠山優那君、中村理恵子君、佐藤 綾君、菊池吉史君(釧路北RAC) |
| ・チョブ ジョ・アマルト ブシンさん(米山奨学生) |

☆メイクアップ

☆出席報告【会員総数63名 免除11名 出席計算に用いた会員数63名】
8月10日 出席及びメイクアップ 43名 出席率66.1%

☆ニコニコ献金(今年度累計 173,000円)

- ・創立記念日おめでとうございます 能登信孝君、田中和紀君
- ※長内 宏君より志を頂きました

☆会長挨拶 《能登会長》



今日は釧路北ロータリークラブが創立53年を迎えた創立記念例会で、今年創立40周年を迎えた釧路北ローターアクトクラブとの合同例会です。クラブ設立は1958年昭和33年5月28日でR I 認証は同年8月18日でその日を創立記念日しております。創立以来緒先輩が営々ときづいてこられた北クラブの歴史を会員皆様と共に考え、お祝いしたいと思います。後ほど釧路北ロータリークラブとアクトクラブ創立記念祝賀会を開催いたします。

☆幹事報告 《田中幹事》



- ①北ローターアクトより7月の例会報告と9月例会のご案内が届いております。回覧致しますので9月例会に参加する方は御記入お願い致します。あわせて釧路北ローターアクト創立40周年記念式典仮登録のご案内が届いております。回覧させていただきます。出欠につきましては改めて合同事務所よりご案内させていただきます。
- ②弟子屈ロータリークラブより例会報告と例会案内が届いております。
- ③公益財団法人「米山梅吉記念館」渡辺理事長より秋季例祭の御案内そして寄付と賛助会入会の御案内が届いておりますので回覧致します。
- ④ガバナー事務所より国際ロータリー日本事務局指導者交代のお知らせが届いております。大島四郎R I 日本事務局長が8月31日をもって退職され9月1日より新しく加倉井隆男氏が御就任されます。
- ⑤ロータリーレートのお知らせですが、1\$78円との連絡がありました。
- ⑥北見東RCより創立50周年記念式典及び祝賀会のご案内が届いております。回覧致します。出欠につきましては改めて合同事務所よりご案内させていただきます。
- ⑦先週18日木曜日に第7分区合同のガバナー公式訪問歓迎晩餐会に能登会長、足立パストガバナーと私と出席して参りました。
- ⑧吉田ガバナー補佐のご協力も頂き、第7分区の各クラブをローターアクトと一緒に訪問させて頂きアクトの会員増強をはかることになりました。8月22日月曜日には、新世代・財団・米山部門担当の富樫理事、RAC小泉会長が音別クラブ。同日、私とRAC小甲幹事が西クラブさんに訪問しアクトの現状をお話しさせて頂き会員増強を訴えて参りました。



足立PDGの乾杯



パスト会長によりローソクの火が吹き消されました。



釧路北RCと釧路北RACの旗が並びます。



☆長内宏パスト会長

人間の誕生宜しく各RCには、それぞれ必ず親RCがあります。そのルーツを求めればRCNo.1シカゴRCまで辿らねばならぬ事になりますが、ここは日本の話に留めます。東京RCは1920年(大正9年)、米山梅吉会長、福島喜三次幹事の体制で創立された事はご存じの通り併し、その後のクラブ活動はほとんど低調であったと言われてしています。1923年9月関東大震災ご発生！直ちに、時のRI会長、かの有名な、ガイガンディガーの指令の下、RI始め米、英、加など世界各国のRCから、8万9000ドル(換算3億2千万円?)の資金援助並びに米艦隊による物資援助を受けたのであります。日本のロータリアンはそのロータリーの博愛精神、人道主義に感激！漸くクラブ活動に熱が入った、そして日本のRCの拡大が始まったと言われてしています。

今回の東北大震災に際してのアメリカの「お友達作戦」と全く同じお話ではないでしょうか！釧路RCは札幌、帯広RCをスポンサーとして昭和11年に誕生。併し、戦雲、急を告げるなか日米戦争が勃発！軍部による排米思想の下昭和15年、RIからの脱退を余儀なくせられました。その後、昭和25年に到って漸くRIに復帰することが出来ました。その復活RC年度の会長を私の亡父、長内丑右衛門が勤めました。

さて、いよいよ我が釧路北RCの誕生であります昭和33年という時代は如何なる社会情勢であったでしょうか？敗戦から13年、あの打ちひしがれたどん底生活と国民的虚脱の中から漸く立ち直り始めていました。奇跡の始まりです。同年1月にはアメリカの人工衛星が打ち上げに成功。現天皇様と美智子皇后様の御婚約発表があり、ミッチーブームが巻き起こり、東京タワーが竣工。私事にて恐縮ですが私が新米外科医として、北大病院から当時まだ浦見町の高台にあった日赤病院に赴任してきた年でありました。

私の手元にクラブ30周年記念誌があります。丁度、私が25代目の会長を勤めていた昭和57年8月、両角PGによる釧路北RC創立記念日でのご講演が掲載されています。大変貴重なスピーチでその中に我がクラブ誕生の秘話が話されており、当時私も感銘深く拝聴したものでしたので、少しく引用させていただきます。

「ロータリーに私はどうつき合ってきたか？」両角克治PG
蛇足ですが、両角PGは我がクラブの真の生みの親であり、昭和11年釧路RC創立から3年間にわたり幹事を勤められ、釧路クラブの基礎を創られました。又、地区がまだ北海道一円であった当時1961年～62年のガバナーを勤められた事はご存じと思います。私たちは我がクラブの神様と敬愛し、私個人も公私とも大変お世話になりました。

引用；

当時、道内ではあちらこちらで新クラブの創立が伝えられ、一方戦後、急速にクラブの新設がなされたライオンズクラブの発展があった(ライオンズクラブの創始者は、メルビンジョーンズという元ロータリアン)釧路クラブは先程述べた経過をたどって来ましたが、すでに郷土を代表するに相応しいRCに大成し、後継者の育成も出来あがっている。RIの要精する「Rotaryの拡大」を具現するため、市内に新しいクラブを創立しようという機運が盛り上がっていた。

そして、釧路クラブから両角さんを筆頭に米内さん、小笠原さん、橋本さん、米沢さんの5人が新設に加わり、新しい、若いメンバーと釧路北クラブの創立が実現することとなった。

発足当時の釧路北クラブのチャーター、メンバーや陣容については計画書や記念誌に詳述されています。この時のスポンサークラブ釧路RCの特別代表は嵯峨晃さん—この方はくしろ漁港開港の父、嵯峨久氏のご嫡男、我々夫婦の仲人という恩人です。両角さんとは、釧路中学同期、両角さんはこの時ガバナー・ノミニーでした。北クラブ初代会長、米内富久司さんはクラブ運営の方針を(親睦、融和)におかれ、炉辺会合的集まりを通して勉強会を活発に行った。或る時、竹老園での勉強会が大いに盛り上がり深更まで及んだ。両角さんは、入歯を床の間の上に鎮座させたまま、帰られたという伝説を教えられたものでした。

ここで釧路北RACについてお話致します。

ロータリーの青少年育成活動には、以前より幾つかのプログラムが行われていました。御存知の如く、釧路北RACは1971年10月に創立総会が開かれ、17名のチャーター・メンバーで発足しています。これは、RIが「ローターアクトプログラム」を提唱して僅か3年後の事で、北クラブの活動性が如何に高きかを証明する証拠でもあります。RACの活動目標その他などは割愛いたしますが、我がクラブでは、曾宇P会長、両角寛治P会長さん等が熱心に取り組み発足に漕ぎつけました。最初は釧路RCからも応援を戴きました。因みに釧路北RAC初代会長は私の病院に勤務していた、芳賀博が勤めました。

私も3代目のクラブのローターアクト委員長を命ぜられ、昼はロータリークラブ、夜はアクトクラブの例会と汗をかいたものでした。現在、メンバーの拡大など若干御苦勞も多いようですが、ロータリーの奉仕の精神を是非身につけて戴き社会への貢献、更には国際平和の為に努力を惜しまないで戴きたいとお願い申し上げます。

以上、我がクラブの誕生にまつわる「お話」をさせていただきました。

我々には、よき環境の下に誕生し、先人ロータリアン各位が築き上げた53年の伝統と両角、坂本、足立各PGを輩出した名実共に実績を誇る名クラブを更に発展させていくべき使命を託されています。

これまでの歴史が証明する如く、人間事象には経済、社会状況、或いは国際情勢などにより思わぬ苦難の道に遭遇する事もあるかと思いますが、今後、ロータリー活動が一層の力を充実させ地域社会に貢献をなし、本年の能登会長年度が素晴らしい1年になる事を心より念願申し上げ拙いスピーチを終えたいと存じます。

ご静聴を感謝申し上げます。



☆釧路北ローターアクトOB 口田良隆様

ご紹介いただきました口田です。釧路北ロータリークラブ創立記念例会及び釧路北ローターアクトクラブとの合同例会にお招き戴き、こんなにもたくさんの方の前で話すのは非常に緊張しておりますが、今日この機会をいただいた事に感謝しております。また、釧路北ローターアクトクラブ今年で40周年おめでとうございます。私は、1977年度～1978年度 第7代の会長としてローターアクトに参加させていただいておりました。

思い起こせば、今から36年ほど前ですが、まだ、私が23、4歳の当時サンエス電気に入社した頃の頃、宮田三司社長よろ社長室に呼ばれ、今日6時頃に釧路食糧のローターアクト例会に参加しなさい。食事はでるからと言われました。何せ社長命令ですから、それに独身でしたし夕飯が食べられる位の軽い気持ちで参加したと思います。たしかカツ丼でした。

しばらくは、わけの分からない例会に参加していましたが、そのうちクラブの人達ともうち解けてきて、少しずつ興味を持つようになりました。まだ私の頃はアクト会員に同業種があまりいなかったため、異業種の会社を知るには大変興味深いものでした。

ローターアクトは常にロータリーの指導と援助のもとに活動するもので、アクトがロータリーを越えて奉仕するものではない。ロータリー精神を学びにローターアクトクラブに参加したのだから、アクトの活動を通じ学んだ事を社会、職場で実践出来るように自己研鑽する場がアクトクラブなのだと先輩から教えられて来ました。来年還暦を迎える私がローターアクトで培った奉仕の精神を家庭や職場、社会でどれだけ実践してきたか良く分かりませんが、アクトを通じて友人、知り合いが沢山出来ましたことはローターアクトに参加して良かったなと思っております。

先にお話しましたが、ローターアクトは、常にロータリーの指導と援助のもとに活動するものです。若いアクターが色々な会社経営者の方から話しを聞く機会はあまり多くはありません。私の頃はロータリアンとの交流をいかに多く作るかが、アクト活動が活発にいくきっかけではないかと思っておりました。ですから、ロータリアンの皆様には、ローターアクトにもっと関心を持って戴き多くのアクターとの接触をお願い致します。

ながながと、とりとめのないお話をしてしまいましたが、これからも釧路北ローターアクトクラブが益々繁栄されることを期待しまして話しを終わります。ご静聴有り難うございました。



☆釧路北ローターアクトOB 我妻宣宏様

今年でRACは創立40周年になるので当時の思い出を話して欲しいと、新世代・財団・米山部門富樫理事より連絡を頂きまして、私が在籍し20周年を迎え式典を行った頃から20年もたったのかと、改めて年月の経つのは早いもだと感じました。また、自分も歳をとったなと思いました。以前から

人前で話しをするのは苦手で、RACを卒業してからこのような機会が無かったので、大変緊張しております。

当時より仕事でお世話になっているロータリアンの方から、入会すると海外研修にも行けるし、月2回ホテルで食事が出来ると聞き、見学に行かせて戴き昭和62年10月に入会させて戴きました。初めて例会に出席した時の何とも言えない雰囲気は今でも忘れられません、いったい何をやるクラブなのか自分はどうしたら良いのか不安な気持ちで、いっぱいになりましたが、何度か例会に出席するうちに、そんな不安な気持ちは無くなりました。

RACの活動の中での思い出のひとつとして、入会してまもなく会員卓話をする事になり、15分間のスピーチをすることになりました。1週間ほど前から何を話そうかと考えましたが、結局、当日の例会直前に原稿を書き終えとても緊張して、自分の仕事について話しをしたのを覚えています。また、先輩会員がとても上手に話しをするのに感心しました。会員卓話というのは、自分と違った業種の人の色々な話しが聞けるので大変参考になりました。

私は第21代会長に任命され創立20周年記念式典と言う大きな行事を経験させて戴きましたが、当時は半年ほど前からシーサイドマンションに集まり打ち合わせや式典の準備を夜遅くまで連日行っていたのを思い出します。式典当日より準備期間の方が印象に残っております。今年度は創立40周年記念と言うことで、式典が成功する事をお祈りいたします。本日は有り難うございました。



☆釧路北ローターアクトOB 千田貴裕様

皆様、こんばんわ。釧路北RAC第31代会長の千田貴裕です。当時の会員数は27~28名で構成されておりました。そして当時のクラブの会長は、松田信明さん、幹事は佐々木淳さんでした。ガバナーは旭川の副島さん、そしてガバナーエレクトに小船井修一さんであったと思います。パストガバナーの坂本さんもお元気であられて、この2500地区でも釧路地域は非常に盛り上がっていた時期であったと認識しております。

この2500地区でも我々釧路北RACは最も古いクラブであり、周年行事の口火を切るクラブでもあります。ですので、来客数も非常に多く、準備に当たっては、周辺のクラブでの近年の前例もなく20周年の時の資料を頼りに手探りで進めていきましたが、ある程度枠組みを固めた後、ロータリアンの方に相談に行っては指導を頂いておりました。会場のシーサイドホテルでは、何度もリハーサルを繰り返したり、料理を試食したりと作業は大変多く、それとともにメンバー間の結束も非常に高まってまいりました。なんとか皆様の協力を持ってこの行事を乗り切ったあと、我々は大変自信をつけ、次年度の全国研修会の開催地として立候補したり、クラブ内活動が活発になりました。今年度は周年行事に加え地区大会もホストする年となっており、ぜひともロータリアンの皆様には、まず我々ローターアクトに関心を持っていただきたいと思います。そして今年度今一度お力添えをお願い致します。



◆四つのテスト◆

石井東洋彦君

久しぶりの「四つのテスト」の指名をいただきましたが、コメントは「職業奉仕」について、という条件を課されました。

自分の職業生活とか実践体験からは、市民への奉仕、市民サービスくらいしか語れませんので、ロータリーの辞書の一つかと思います「Myfriend(ロータリー情報)」という本を開いてみました。

すでに勉強されていらっしゃる方は復習のつもりでお聴きいただきたいのですが、ここには「職業奉仕は第2奉仕部門である。ロータリアンが、その職業上のあらゆる関係において、すべての人々に対して、すなわちロータリアンでない人達も含めて奉仕の理想を分かち与える責務のことをいう。」と書かれています。そして、「職業奉仕は長年、会員個人の責任において実践すべきものとされてきたが、1987～88年度にR1理事会はこれを改め、『職業奉仕はクラブと会員双方の責務である』との声明を採択した。」ということ、さらに、「職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。」ということも示されています。ロータリーが、そしてクラブが何をすべきなのか、プログラムの中で学習していくことが必要であると感じました。

★米山奨学生★



担当カウンセラー 坂入信行君

米山奨学生 チョブ ジョ・アマルト ブシンさん